

保健師活動の原点を学ぶ

府市町村保健師協議会一日研修会



府市町村保健師協議会一日研修会は、10月17日（金）、府国保連合会に、延べ45名の保健師が集まって開催された。舞鶴市児童・障害福祉課の霜山美穂会長は挨拶の中で、保健師の原点を知り、保健師としてのあり方を学んでほしいと述べた。その後、顧問である京都大学医学部公衆衛生学教授の中原俊隆氏と、来賓として府健康福祉部の川野一男健康対策課長が挨拶した。

午前には小池征人監督作による映画『「いのちの作法」一沢内「生命行政」を継ぐ者たち一』を上映した。

午後からは、講師である元岩手県沢内村保健師でNPO法人輝け「いのち」ネットワーク理事の高橋和子氏が持参した沢内村のドキュメンタリー映画を見た後に、「沢内村の保健師活動を通して」と題して講演した。高橋氏はいま伝えたいこととして、保健師たる者、住民に密着した活動を心がけ、また住民自身が健康に対する自覚を持って生活できるように促していかなければならないと述べた。

